

平成26年第2回定例会一般質問

平成26年6月23日・24日・25日

(14枚のうち1枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
1	福本千枝子議員	<p>1 曾木の滝観光の展望について</p> <p>2 児童・生徒の学力向上について</p>	<p>(1) 新曾木大橋の開通、小水力発電所の完成により、観光客は増えたのか現況を問う。またPRはどの程度すすんだのか。</p> <p>(2) 旧曾木大橋は残念ながら解体となった。解体工事はいつから始まるのか。上流からの滝が望めなくなるので、展望デッキ等は作られないのか。橋のあるうちに、子どもたちのスケッチ大会や大人のフォトコンテスト等のイベントはできないか。公園内には、NHKの朝ドラ「花子とアン」の白蓮の歌碑がある。今がチャンスだ。PRして人をよべないか。</p> <p>(3) 旧さかき屋跡においてレンタサイクルの計画を聞くが、行政としてバックアップをどう考えるか。</p> <p>(1) 本市の児童生徒の学力の状況は県下でどの位置にあるか。大分県の豊後高田市では「学力を身につけることは将来の選択の幅を広げることになる」と強調された。どうすれば学力はあがると考えるか。</p> <p>(2) 昨年度から実施されている「土曜いきいき講座」は大変ありがたい。現況はいかがか。今後拡大等の計画はあるのか。</p> <p>(3) 2つの中学校が廃校となるが、跡地利用の検討はなされているか。この跡地を利用して、周辺部の子どもたちへの講座はできないものか。</p> <p>(4) 国は特例で、各自治体で実施している小中一貫校の制度化を検討しているが、本市での検討はあるのか。教育長の考えを伺いたい。</p>	<p>市長</p> <p>市長 教育長</p>	

平成26年第2回定例会一般質問

平成26年6月23日・24日・25日

(14枚のうち2枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
2	市来 弘行議員	1 菱刈市街地・深夜の大型車通行による騒音防止策について	<p>この件については、前3月定例会に於いて、地元同僚議員からまさに的を得た問題提起と改善に向けての強い要望がだされた。その後の取り組み、進捗状況についてお聞きしたい。</p> <p>(1) その後、関係各機関の人達が集まったの会合も開かれたと聞いた。その取り組み状況と改善に向けて、現在どのような対応がなされているのか。</p> <p>(2) この案件の改善には、2つの側面があると考えます。 ひとつは、大型車通行による騒音・振動を少なくするための道路舗装を含めた整備の在り方が問われている。 2つ目には、大型車通行速度抑止策を含めた警察行政への対応である。まさに「実効性のある」対策が求められている。 伊佐市・県・関係機関・地元コミュニティー一体となった具体策が何か考えられないものだろうか。</p>	市長	

平成26年第2回定例会一般質問

平成26年6月23日・24日・25日

(14枚のうち3枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
3	諏訪 信一議員	<p>1 川内原発避難計画について</p> <p>2 災害時避難施設について</p>	<p>川内原発1-2号機の重大事故を想定し、原発から30km圏内の9市町に対して住民避難計画の説明会等が行われましたが、避難に対して住民の納得が得られない状況にあります。伊佐市は30km圏外で、出水市、阿久根市の避難先となっています。両市とも国道447号をつかって伊佐市へ避難するため、道路の渋滞が予想されます。</p> <p>(1) 出水市、阿久根市との住民受け入れの協定書はどのような内容なのか。</p> <p>(2) 避難施設は伊佐市の災害避難所が考えられるが、確保されるのか。</p> <p>(3) 両市の受け入れ人数はどれくらいを想定しているのか。</p> <p>(4) 風向き(西南西の風)によっては、伊佐市民も避難の対象となるのでは。</p> <p>本格的な雨期を迎えました。本市も市街地に大きな川が流れています。平成18年菱刈地区の内水が西太良地区に流れ込み大きな被害をもたらしました。市内には32カ所の避難施設が確保されています。</p> <p>(1) 避難を呼びかける際、住民にどのように知らせるのか。大雨で災害無線が聞こえない、また、無線がない地域への呼びかけは、どのように計画されているのか。</p> <p>(2) 施設の宿泊設備は十分なのか。</p> <p>(3) 高齢者の避難先までの送迎は。</p> <p>(4) トイレは確保されているのか。(特に高齢者向け)</p> <p>(5) 食料の備蓄は。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p>	

平成26年第2回定例会一般質問

平成26年6月23日・24日・25日

(14枚のうち4枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
4	前田 和文議員	1 若年者支援策について	<p>(1) 若年者に対してどのような支援に取り組んでいるか。今年度新しく取り組む事業を含め、各課で取り組む支援事業の概略を示されたい。</p> <p>(2) 現支援の取組成果と課題について、全庁的に把握しているか。</p>	市長	
		2 公共交通の整備について	<p>(1) 県境に住む市民にとって、隣接する各市の二次医療機関利用は必然的なものである。水俣・人吉に緊急搬送された市民の人数、また入退院している方の人数は、昨年実績でどの位あるか。</p> <p>(2) 現在水俣線は継続に向け努力なされているが、人吉線は皆無である。交通弱者にとって非常に負担だと考えるが、対策は検討されているのか。</p>	市長	
		3 太陽光発電用敷地管理と環境対策について	<p>(1) 現時点における平地設置の2アール以上の太陽光発電敷地の数と管理状況及びその方法は、把握なされているか。</p> <p>(2) 周辺住民の良好な生活環境は守られているか。不安等を与えるような事案はないか。</p> <p>(3) 敷地の管理状況等については、伊佐市環境美化推進条例に基づき、市当局に監督責任があると解するがいかがか。</p>	市長	

平成26年第2回定例会一般質問

平成26年6月23日・24日・25日

(14枚のうち5枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
5	中村 周二議員	1 有害鳥獣駆除とシカの加工品について	(1) 有害鳥獣駆除等の補助金のあり方について。また、シカの加工品を作って販売しているが、仕入れが高いと売値が上がる。安くする方法はないか。	市長	
		2 空き家対策について	(1) 以前にも空き家対策について質問したが、空き家の把握等も含めて現在どのような対策をしているのか伺いたい。 (2) 鳥取県日南町は空き家に対する条例を制定しているが、伊佐市も制定する考えはないか。	市長	

平成26年第2回定例会一般質問

平成26年6月23日・24日・25日

(14枚のうち6枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
6	畑中 香子議員	1 介護保険制度について	<p>介護保険制度「改正」案が国会で審議されているが、予防給付の見直しなど様々な点で「介護の社会化」の理念を完全に放棄し、公的給付を削り込んで介護の責任を家族や地域に押しつけるものである。この見直し法案が成立した場合、市内の要介護者や要支援者にとって制度がどう変わるのか。</p> <p>(1) 要支援者が利用してきた訪問介護やデイサービスなどの予防給付がどうなるのか。</p> <p>(2) 要介護1・2の方の特養への入所を「特例的」に認めるとしているが、市内の38人の待機者のうち要介護1・2の方は対象外となりうるのか。</p> <p>(3) 補足給付要件の見直しや利用料引き上げも含まれる改悪法案であり、医療関連の法律を一括する新たな法案と一緒に一気に成立させられる恐れがあるが、審議の方法も含めて、市長として反対の意見を上げるべきではないか。</p>	市長	
		2 川内原発再稼働問題について	<p>(1) 川内原発の再稼働がすすめられようとしているが、大飯原発の再稼働は違法とする判決が下された。このような中で川内原発を再稼働させることについて市長の見解を伺う。</p> <p>(2) 福島第一原発の事故を受けて、原発から30キロ圏内の自治体には避難計画が義務つけられたが、出水市などからの避難先として指定されている本市では、どのような受け入れの準備がなされているのか。</p>	市長	
		3 水俣病問題について	<p>(1) 水俣病不知火患者会の主催で5月18日検診会が行われ、水俣病の疑いがあった市内の住民27人中22人が水俣病の特徴的な障害が認められると診断された。市内にはまだまだ潜在的に患者が存在するとの医師の見解がある。発症からこの間にどれだけの人が水俣病で</p>	市長	

平成26年第2回定例会一般質問

平成26年6月23日・24日・25日

(14枚のうち7枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
		4 公園管理について	<p>苦しみ、亡くなられた方も多きことかと推測される。水俣市の企業の公害によって、本市の山野地域を中心とした住民が苦しめられていることに怒りを感じないか、市長として責任を感じないか、見解を問う。</p> <p>(2) 伊佐は医療費が高いことが指摘されているが、水俣病との関連性を積極的に調査、分析すべきではないか。</p> <p>(3) 別の病気と診断され、適切な治療も補償も受けられていない未認定患者を救済するためにあらゆる手だてをつくすべきではないか。アンケートによる掘り起こしや特定検診時に水俣病の症状がないか問診を追加することなど、できることから早急に取り組みを開始すべきではないか。</p> <p>(1) 市内の多くの公園で、地域住民から管理の問題が指摘されているが、市長はこのことについて認識があるか。</p> <p>(2) 適切な管理を行っていくため、今後の対策は。</p>	市長	

平成26年第2回定例会一般質問

平成26年6月23日・24日・25日

(14枚のうち8枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
7	左近充 議員	1 有害鳥獣駆除対策について	<p>(1) 平成25年度のイノシシ・シカ・アナグマの捕獲数は。</p> <p>(2) アナグマ・シカの捕獲数を増やすべきではないか。</p> <p>(3) シカの捕獲を大型ワナで出来ないか。</p> <p>(4) 平成25年度の処理施設の処理頭数は。</p> <p>(5) イノシシ・シカの処理場の運営を、指定管理者制度か臨時職員で行い、肉を安く大量に流通するべきではないか。</p>	市長	
		2 曾木の滝周辺整備について	<p>(1) 曾木の滝大橋の取り壊しはいつか。</p> <p>(2) 床板を利用し少し上流に飛び石の様に設置するか、また新たにつり橋は出来ないか。</p> <p>(3) 公園・新大橋・分水路と歩いて、一周できるように出来ないか。</p>	市長	

平成26年第2回定例会一般質問

平成26年6月23日・24日・25日

(14枚のうち9枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
8	森田 幸一議員	1 地域防災活動の支援について	<p>(1) 本市は自主防災組織との意思疎通や連携をどのように図っているのか。</p> <p>(2) 自主防災組織を推進していく為には、リーダーの熱意と力によるところが大きい。自主防災組織リーダーの手引書を示す考えはないのか。</p> <p>(3) 自主防災組織訓練のマニュアルを示されているが、その活用と効果をどのように分析しているのか。</p> <p>(4) 自主防災組織（自治会）で要援護者名簿を作成されていると思うが、本市での名簿の収集方法及び管理方法を問う。</p>	市長	

平成26年第2回定例会一般質問

平成26年6月23日・24日・25日

(14枚のうち10枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
9	鶴田 公紀議員	1 公共施設の管理及び利活用について	(1) 旧中央公民館跡地 (2) 焼酎資料館跡地 (3) 夢さくら館のトイレ及び駐車場の活用 (4) 健康センター・元気こころ館の利活用 (5) 市営住宅等と体験住宅の利活用 (6) 多目的公園の利用計画（国本会から取得した土地）	市長	
		2 人口減対策について	(1) 人口減少問題検討会では2040年には自治体の半数が消滅するとも言われているが、当市も減少の一途をたどっているが何か歯止め対策は考えられないか。 (2) 若い女性の流出が多いとも試算されているが、当市の子どもの産み育てやすい環境の充実との整合性について (3) 小学校再編について ア. 統廃合及び廃校・休校の基準について	市長 教育長	

平成26年第2回定例会一般質問

平成26年6月23日・24日・25日

(14枚のうち11枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
10	山下 和義議員	<p>1 伊佐市の人口減少問題の取り組みについて</p> <p>2 今春伊佐市内の中学校を卒業された生徒の進路状況について</p>	<p>「日本創生会議」の分科会が平成26年5月8日に2010年に比べて2040年に20代から30代の女性が半分に減る自治体が896市区町村に上がると試算を発表した。その中に伊佐市の2010年2383人、2040年1043人、人口変化率△56.2%という試算もある。早めの対策が必要であると思う。そこで次のことについて市長のご見解をお伺いしたい。</p> <p>(1) 市長はこの試算をどのように受け取られたか。</p> <p>(2) この試算表について庁内で議論されたか。</p> <p>(3) 平成26年度に課の再編をされている。市長の意図としてこれからの行政組織は一つの課が一つのことに取り組むのではなく、市全体が横断的に連携しながら取り組むことを前提に組織再編がなされたと思っている。全ての課があらゆる情報を企画と共有して、2040年を見据えた対策を今から取り組んでいけば確かな自治体としての機能を持つと思う。行政と医療機関や介護関係、農業関係、企画関係等伊佐市のあらゆる関係機関と連携しながら若者が働いて生活できる伊佐市になるような対策をしていただきたいと思うがどうか。</p> <p>(4) 特別支援学校の誘致等にも力を入れることも大切である。行政も本気で取り組んでいただきたいと思うがどうか。</p> <p>現在教育委員会は小・中学校の児童生徒の学力向上に精力的に取り組んでこられている。また伊佐市は市内の高校に魅力ある高校づくりのために補助金を支出して市内高校の活性化に力を注いでいる。しかしながら、本年度の大口高校は定員割れとなった。そこで</p> <p>(1) 平成26年3月の、伊佐市内の中学校卒業生の進路はどのような状況かお伺いしたい。</p> <p>(2) 伊佐市内の中学校に勤務されている教職員の居住地状況についてもお伺いしたい。</p> <p>(3) 市内の中学校の先生方と大口高校や伊佐農林高校との先生方との交流が図られているのかお伺いしたい。</p>	市長	市長 教育長

平成26年第2回定例会一般質問

平成26年6月23日・24日・25日

(14枚のうち12枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
11	柿木原榮一議員	<p>1 夢さくら館の指定管理者制度と再開について</p> <p>2 登校・登園及び交通安全対策等について</p>	<p>(1) 夢さくら館が農業法人株式会社大国ファームに指定管理者に指定されてから1年で営業されなくなり、現在は閉館状態である。指定管理者を辞退された理由は何か。</p> <p>(2) 質疑の答弁中、「審議会から上がってきたので、上程した。大国ファームの主な事業計画書の内容・会社の概要についての質問に詳細に説明されてなかった」と答弁を記憶しています。審議会に資料を提出し、審議・決定されたものと思われませんが、調査や資料等の不備はなかったのか。</p> <p>(3) 大国ファームは市の対応等への不満がなかったのか。市側に落ち度はなかったのか。指定管理契約中の1年間に如何程、支払われたのか。指定期間があったが、指定管理者に対する契約上のペナルティはなかったのか。</p> <p>(4) 大国ファームを指定される時は、平成24年の8月16日から9月14日の期間で募集要項、仕様書を示して指定管理者の募集をされたが、これからの夢さくら館の活用は検討されるのか。これから留意されることはないか。</p> <p>(5) 財産ではあるが、夢さくら館の再開・使用方法はいつごろ考慮されるのか。</p>	市長	
			<p>(1) 市道井手原線の進捗状況はどうなっているのか。大口保育園に登園される農道の整備、並びに帰宅の道(市道井手原2号線)は袋小路があり狭いが、保育児の安全のため整備の可能性は。</p> <p>(2) 大口小学校の登校通路でふれあい農道の民有地の角地を買収し、通常の右側通行の計画は。</p> <p>(3) 国道268号(西本町～郡山間)は、複数の交通死亡事故が発生し、負傷者も多いが、横断歩道を照らすライトの設置は、鹿児島県地域振興局等に要望できないか。</p> <p>(4) 市道元町線で50年以上経過したコンクリート舗装の場所があるが、整備の可能性は。</p>	市長	

平成26年第2回定例会一般質問

平成26年6月23日・24日・25日

(14枚のうち13枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
12	森山 良和議員	1 伊佐市をより広く アピールするには	<p>(1) スポーツの充実しているまちにできないか</p> <p>ア 伊佐市も県体育館建設誘致を行っているが、現在の状況及び今後の誘致方法について伺いたい。</p> <p>イ 既存のスポーツ施設をより有効活用し、多くの方々にスポーツに親しんでもらえるよう、施設の利用条件緩和などは検討できないか。</p> <p>ウ 休耕田などを使い、子どもから大人まで楽しめるスポーツ大会（泥んこ大会）があるが、地元農産物販売や流入人口増により、地域に元気を与えている。このようなイベントを通して、伊佐市をアピールできないか。</p> <p>エ スポーツボランティアという制度がある。市民が大会を作り、多くの参加者が伊佐市に集えば、まちも活性化されると思う。市民に理解と協力をもらうことで伊佐市がスポーツ先進地としてアピール出来ると思うが、考えを伺いたい。</p> <p>(2) 「見る」「聞く」「知る」ができるまちとして</p> <p>ア 市民への情報提供という意味でも、今後、インターネットや携帯電話等の活用がより有効になってくると思う。現在の活用状況と今後の取り組みについて伺いたい。</p> <p>イ 広報活動の充実にもつながると思われる、ケーブルテレビ導入やコミュニティーラジオ局の開設などは検討できないのか、考えを伺いたい。</p>	市長 教育長	

平成26年第2回定例会一般質問

平成26年6月23日・24日・25日

(14枚のうち14枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
13	緒方 重則議員	<p>1 閉校後の跡地活用について</p> <p>2 空き家バンクについて</p>	<p>平成27年3月で山野中学校・大口南中学校が閉校となるが、</p> <p>(1) 伊佐市学校跡地等利用検討委員会において、検討会の進捗状況はどうなっているか伺う。</p> <p>(2) 他市町村の取り組みも参考になると思うが、情報収集の状況を伺う。</p> <p>(3) 地域の声も大事であると思うが、コミュニティ協議会等を通しての意見把握はどのように考えるか。</p> <p>定住促進空き家活用事業補助金制度や移住体験住宅の活用により、空き家活用の実績は上がっていると思うが、</p> <p>(1) 空き家の現状をどう把握しているのか伺う。</p> <p>(2) 空き家活用情報制度（空き家バンク）の取り組みが生活環境の保全や防犯に役立つなどの情報提供に繋がると思うが考えを伺う。</p> <p>(3) 市ホームページに空き家情報を掲載することで移住促進につながると思うが不動産業者との連携などを含めその取り組みについて伺う。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p>	